



町内会活動を支える対話と学び

— 第二回理事会・道南ブロック研究大会・ブロック別交流会報告 —

令和7年度 第2回理事会を開催

1月14日、役場第2会議室にて令和7年度第2回理事会が開催されました。冒頭、昨年8月に逝去された村上監事へ黙とうを捧げた後、議事に入りました。

主な議題は、令和7年度町内会活動功労者表彰についてで、各地区から推薦された候補者全員が承認され、2月18日開催の町内会活動実践交流会において表彰されることが決定しました。また、監事欠員に伴う当面の運営体制についても確認されました。



竹浦・虎杖浜地区ブロック別交流会を開催

2月5日、虎杖浜生活館にて竹浦・虎杖浜地区ブロック別交流会(23名参加)開催され、講演では「町立病院の今後の課題と収益見通し」をテーマに、白老町立国民健康保険病院 事務長本間 力氏から、患者数、医業収益の推移や収益見通し、新病院の経営強化の取組などについて、分かりやすく説明がありました。西科純経営監、岡朋恵看護参事も出席いただき、各会長の質問に丁寧に応えていました。また、4月1日からは常勤医師3名体制確保の報告があり、病院の応援団 TOMTOM トムトムくらの登録要請など病院の改革にむけてスタッフの熱い思いが感じられる会となりました。



大会では、「安心安全に暮らし続けるための地域づくり」をテーマに、人口減少や高齢化が進む中で、町内会活動を継続させていくための工夫や課題について、基調講演と分科会を通じて学びました。防災や福祉、町内会活性化に関する各地の実践事例が紹介され、役員の負担軽減や担い手づくりなどの取組が示されました。今後の町連合および各町内会の活動を考えるうえで、有意義な研修の機会となりました。

道南ブロック町内会活動研究大会に参加
10月23日・24日の2日間、登別市で「令和7年度 道南ブロック町内会活動研究大会」が開催されました。白老町町内会連合会からは、会長・副会長・事務局長の4名が出席し、渡島・桧山・胆振地域の17連合会から計119名が参加しました。

